



日貨労働千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

96.8.9 No. 4446

またも組合を無視

貨物会社フレイト21を前倒し!

一方的に業界紙に
不誠実な対応に怒り

貨物会社は、物流関係の業界紙のなかで、三年前に策定した中長期計画「フレイト21」の前倒し―新たな修正プランを作成していることを明らかにした。ところが労働組合にはこれまでと同様に何らの提案もされないどころか、一方的に業界紙に公表するに終始している。

いたずらに現場の労働者に不安と不信をおおるこうした会社の姿勢は断じて許されるものではない。「フレイト21」による首切りと合理化を許してはならない。

前倒し! 六千人体制を狙う

「フレイト21」は、分割・民営化の矛盾が最も集中している貨物会社が、その赤字構造からの脱却をかけて策定した大リストラ計画であり、十年間で一千六百人の早期退職強要と鉄道部門七千人体制という、首切りと大合理化の計画である。ところが三年を待たずして、その修正に取り組まざるを得なくなった。収入が計画どおり伸びない中で、

「黒字体質」にするために人件費率の引き下げ、さらなる要員削減を行なおうというのだ。

一千六百人の予定の早期退職募集をさらに四百人上乗せして二千人に、新規採用も当初計画からは百人減の二百人とするなど、鉄道部門を六千人体制とする等が修正プランの主な内容となっている。「フレイト21」にさらに輪をかけたような大リストラなのだ。

だが貨物職場をめぐる現状は要員不足の一言につきている。退職や五五才出向などで欠員になれば、それが次のダイ改で「標準数」となり、要員が確保できなければ、業務を他の区所へ振り替えることも行なわれている。これ以上の要員削減などともんでもないことだ。むしろ「五五才原則出向」を取り止め、業務に必要な要員の確保と技術段差の解消こそ真っ先に取り組まなければならぬことだ。

日貨労革マルが率先協力

「フレイト21」は貨物の全職場をおおう攻撃であり、職場生産点の労働者を直撃し

ている。常に会社と労使一体でやって来た日貨労の中ですえ、会社と革マル執行部に対して、どこまで協力するのか、と激しい不満と不信が噴出し

七月に行なわれた日貨労大会でもすべての代議員からこの問題にたいする不満と不安の声が続出したのに対し、委員長城石は、「密度とサーピスを強めよ」とさらなる労働強化を求め、「リストラには反対しない」「一つの企業をいかに創りだしていくのか

が労使協力だ」などと平然とうそぶいているのだ。労働者の不安に対し、労働強化にもつと応じよ、リストラを受け入れよという資本の奴隷の論理をふりかざす日貨労革マルこそ労働者の敵だ。すべての犠牲を労働者に転嫁する日経連方針の忠実な先兵JJR総連を解体しよう。日貨労革マルとのみ協議をかさね、首切りと労働強化の道突き進む貨物会社の「フレイト21」を許さず闘いぬこう。

《当面するスケジュール》

戦争責任を追及し憲法改悪に反対する8・15集会

- 8月15日(木) 13時~17時30分
- 東京・杉並 西荻勤労福祉会館ホール
- ◆千葉駅一〇番線 一一時一六分 快速列車最後部

8・31被災労働者を支援する集会

- 8月31日(土) 18時
- 東京・飯田橋 中央労政会館

許すな! 警察国家への道 つぶせ! 破防法9・1大集会

- 9月1日(日) 12時30分~19時
- 東京・杉並公会堂ホール